



**有田直人**  
ありた・なおと  
群栄興産株式会社  
代表取締役社長

1985年生まれ。学生時代に起業家が発見し、経営者に与える機会が多い地方銀行に入行。4年間、津かり営業として法人・個人貸出、種かり営業職を経験した。2012年に結婚とともに岳父が経営している群栄興産社に入社。東洋大学卒業後などを経て、20年、代表取締役社長に就任。

塚本祐馬・ブレインマークスビジネスコンサルタント 有田直人は群栄興産社に入社する前、どのような仕事をされていたのですか。

有田直人 群栄興産代表取締役社長 地元、群栄興産銀行に勤めていたのですが、実をいうと、学

10年後をリードする 未来企業 107

地域密着型の経営を目指し  
顧客と社員に「安心」を提供したい!!

群馬県の群栄興産(高崎市)は老舗保険代理店として、長年にわたって経営リスクに対応した幅広い商品を取り揃え、地域密着型の経営を展開しつづけてきた。2020年には元銀行マンの有田直人社長が事業承継をばたし、さらなる成長に向けて動き出している。そんな有田社長の夢と思い、群栄興産の塚本祐馬氏がアプローチした。



明るく元気な社員の皆さん

生時代から漠然と「社長になりたい」という思いを抱いていました。そうしたなか、職場で妻と出会い、群栄興産の創業者である義父から「後を継ぐことを前提に入社しないか」と誘われ、あらたな一歩を踏み出すことにしたのです。異業種からの転職という形になりますが、銀行で



顧客一人ひとりに寄り添う対応が強い

経営者には経営者の役割があると考えよう。と同時に、経営と業務を分けて考えることの重要性を知り、少しずつ社員に業務を任せられるようになっていきました。

有田 主軸の法人保険では以前から会社経営で避けられないリスクとなる賠償、ケガ、情報漏洩といった想定外な商品を探求している。また、ここ最近では自然災害や国内外の経済変化によるあらゆるリスクも急増している。そう、いった不測の事態に備えられるプランも強化しています。

は個人向け商品にも力を入れ、地域に「安心」を提供できる代理店になろうという方向性も打ち出しました。そして、現在に①衣・食・住・情報の向上に資する「生活支援事業の拡大」②地域の起業家・創業者の活動を加速させる「職業的自立支援市の支援」③安全で快適な街づくりに貢献する「地域社会の健全発展」という3つの「社志」を掲げています。

くするために、自分の意見はきかんといい。その結果、タビになっても構わない」という意気込みで臨んでいました。自分も未熟で、ときには義父と衝突する覚悟があったおかげで、義父が寛容だったおかげで、自分が残るようなことにはありませんでした。一方で「会社にとってプラスになることは何でもやる」という気持ちも大きかった。そこで、またまた仕事に全力で取り組んでみました。

とってはこれだけでも衝撃的でした。というのも、当時の私のなかには「後を継ぐことを前提に入社したからには妥協でなくてはならない」「後継者はあらゆる業務を高いレベルでこなす「スーパー営業マン」でなければならぬ」という思いがあったから。しかし、義父が寛容な心を示してくれたおかげで、こうした考えは少しずつ軟化し、

これらの商品を取り扱ううえで大切にしているのは「地域に密着した代理店である」とことで、ささうした考えのもと、昨今

塚本 志を表現するために、組織内ではどのような取り組みを推進していますか。

有田 まずは「当たり前のこと」を当たり前にできる「組織であることを心がけています。実務ベースではお客さま一人ひとりの未来とリスクを想定し、幅広い視野で、迅速に最適な商品を提案することをモットーにしております。現在はそための仕組み



**塚本祐馬**  
つかもと・ゆうま  
株式会社ブレインマークスビジネスコンサルタント

大手化学品メーカーで法人営業を担当。「業績を上げつつける仕組みづくり」に心を注ぎ、多くの実績を上げてきた。クライアントが満足と感じている課題を特定し、仕組みを通じて解決することを得意としている。とくに経営計画書の作成やPDCAサイクルの仕組みづくりをベースにした支援スタイルは、クライアントから高い評価を受けている。

10年後のためのアドバイス!

群馬県の保険代理店として老舗にあたる群栄興産。その創業40周年のときに作成したキャッチコピーは「安心できるから未来がある」だったそうです。そんな地域密着型の代理店を承継した有田社長は今後、企業経営におけるあらゆるリスクに対応する保険商品の拡充や専門知識の提供などで、さらなる発展を目指しています。金融機関で培った経験を生かしながら、保険という切り口でどのように地域を元気にしていくが期待したいところです。一方、有田社長は働きやすい組織づくりにも取り組んでいるとのこと。当社は「仕事に関する価値基準の明確化」「透明性のある人事制度」といった具体的な仕組みを提案し、生産性の向上に貢献したいと思っています。

も保険を取り扱うことがあったので、違和感はないとありましたが、社内に「安心」を提供しつづけてきた。有田 入社直後から「会社を真